



編集・発行

町田市男女平等推進センター

運営委員会

町田市原町田4-9-8

町田市民フォーラム3階

TEL 042-723-2908

## 世界から学ぶ

6月16日 男女共同参画週間 記念講演会 報告

## 人生100年時代を 幸せに生きる知恵

講師 大崎 麻子 さん（関西学院大学客員教授）

大崎麻子さんはコロンビア大学院在学中に出産し、卒業後に国連開発計画（ＵＮＤＰ）に入局。幼いお子さんを連れて途上国の村に赴任し、現地の母親やガールズのエンパワーメント※推進を担当されました。東日本大震災の被災地での女性支援を機に、国内のジェンダー問題や女性とガールズのエンパワーメントに取り組みながら、フリーの専門家として国内外で幅広く活動中です。講演の一部を要約してお伝えします。

※ エンパワーメント・・・力（パワー）をつけることの意。

## 国連のめざす人間の「幸せ」とは？

「一人一人の人間が、持って生まれた可能性を開花させ、社会の一員として尊厳ある人生を生きられること」、これが国連のめざす世界です。そのためには、①健康 ②教育 ③経済的自立 ④参画（人権が尊重され、政治や社会に参加できる）が必要となります。これらを実現することが国連の人間開発のゴールであり「幸せの土台」となるものです。

## 女の子が学校に行けない途上国

水汲み、炊事、子守りなど家事労働は「女の仕事」とされている途上国では、「女の子」は重要な働き手です。母親が学校に通わせることに消極的な地域では、まず母親たちの「教育」（生活に必要な識字、衛生知識など）を取り組みました。また縫製や調理等の技術を生かした起業支援によって「経済的自立」も促します。その結果、乳幼児死亡率が激減し、生計手段を得て自立した母親たちは、女子教育の必要性をしっかりと理解します。さらに国連では、女性も男性と同じように意思決定に参画できるよう「女性の政治参画」を支援し、途上国でも女性議員が大幅に増えています。

## ジェンダー平等と女性のエンパワーメント

私のライフワークは、「ジェンダー平等」と「女性とガールズのエンパワーメント」です。ジェンダー平等とは、「男女が等しく、権利、機会、責任を持ち、意思決定にも対等に参画すること」。女性とガールズのエンパワーメントとは、「人生のあら

ゆる選択肢を自分の意思で選び取っていく力、男性と対等に意思決定に参加するために必要な力を身につけること」です。これらは国連加盟国193カ国が合意した国際目標です。



## 幸せとは、主体的に生きること

自分の人生を誰かに依存するのではなく、自分で考え、自分で決めながら生きていくこと、試行錯誤しながら自分の選択を積み重ねることが、自分の人生を主体的に生きることではないでしょうか。そして困難に出会ったとき、助けを求め、助けとつながる力＝「受援力」を持っていることも、とても重要です。

## 日本の課題は？

今、日本に必要なことは、①心身の健康（自己肯定感の醸成・性と生殖の権利）②教育（自分の頭で考える力・批判する力・社会の仕組みや動きを読み解く力・デジタル力）③経済的自立・備え④参画（つながり助け合う・より良い社会を創る）です。日本ももっと、女性議員を増やすことで、仕事と家庭が両立でき、子どもを産み育てやすい、持続可能な社会の仕組みを創っていくことができるのではないでしょうか。（文責 運営委員会）

## 男女平等推進センターから

報告

備えよう！

### 「いつか」のための 「いつも」の防災

実施日：2019年3月18日（木）

女性の視点で防災を伝える「東京くらし防災」（東京都発行）の編集・検討委員会の1人である国崎信江さんを講師に招き、防災の具体的な方法や、避難所運営における女性の主体的な参画の大切さを学びました。



「女性の視点が活かされ防災意識が高まりました」「防災用品の見直しが必要だと思いました」等の感想をいただきました。

報告

### 子育てママの カラダメンテナンス

実施日：2019年5月20日（月）

前半は肯定的なコミュニケーションの取り方について、講師の方や参加者同士でお話しました。後半は簡単なヨガで心と体をリフレッシュしました。

「とてもすっきりして、リフレッシュできました」「素敵なお話に心がおだやかになりました」等の感想をいただきました。



## シネマでトーク

素敵な映画をみて、あれこれ  
楽しく話しませんか！ 無料

場所：フォーラム3階 視聴覚室  
まちだくらしフェア2019協賛企画  
\*7月6日（土）13:00～106分  
「ライフ・ゴーズオン」2016年  
（米）

生きることは楽でない。ちょっとした挫折感を味わいながら人は生きていくのだ。

場所：フォーラム3階 活動室  
\*8月13日（火）14:00～102分  
「かもめ食堂」2006年（日本）  
群ようこの書下ろしの映画化。  
小林聰美、片桐はいり、もたいまさこといった面々がのんびり、ゆったり交流。

\*9月10日（火）14:00～112分  
「ブルックリン」2015年（アイルランド、イギリス、カナダ）  
アイルランドの田舎から大都市ニューヨークに移住した女性の青春の日々を映す。



「自分が高齢になるということ」和田秀樹 新講社  
「高齢になると人はボケる」という前提に立ち、たとえばボケたとしても最後まで幸せに生きられることを高齢専門の精神科医の著者が説いています。認知症はだれにも起こりうる老化の自然な姿で、そのことを素直に受け入れ、「ボケてもいい、幸せな人生で終わりたい」という気持ちになつた時、自分が高齢になることへの大きな不安が消えるはずとの事。終活等を考えた時、参考になる一冊です。（K）

政治学者として活躍する姜氏の人生に深く影を落とす祖國の分断や親の苦労、そして最愛のご子息の死。しかし人生に起こった数々の困難を乗り越えて今静かに軽井沢の高原に暮らすという。高原の美しい自然に暮らす中で折に触れ亡き母の教えに生きる力を思う姜氏。学ぶ機会が多く文字を持たなかつたという姜氏の母の力強い教えは読む者的心にも勇気を与えてくれます。（I）

## 蔵書の紹介

【センターでは、図書の貸出やDVD・ビデオの視聴ができます！】

### 「母の教え」

姜 尚中 集英社新書

「女性悩みごと相談」 電話番号：042-721-4842

☆女性のための身近な相談室として、電話による相談を受けています。DVやセクハラ、夫婦間問題、LGBTなど一人で悩まないで相談してみませんか。

相談時間…月・火・木・金・土曜日 9:30～16:00

水（第3水曜日を除く）13:00～20:00

（日・祝日、年末年始はお休みです）



「法律相談」 予約は「女性悩みごと相談」にて受け付けます。

☆女性弁護士が担当します。

相談日：毎月第2・第4 木曜日 14:00～16:00

※祝日の場合はお休みです。

